

都市再生整備計画(第1回変更)

あさばししよしゅうへん
浅羽支所周辺地区

しずおかけん ふくろいし
静岡県 袋井市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	ふくろいし 袋井市	地区名	あさばししよしゅうへんちく 浅羽支所周辺地区	面積	7.3	ha							
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	交付期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度

<p>目標</p> <p>大目標:多様な交流の促進による賑わいあふれる地域拠点の実現</p> <p>目標1:多様な世代が訪れ交流する魅力ある都市空間の創出</p> <p>目標2:子どもの笑顔と子育ての喜びがあふれる場所づくり</p> <p>目標3:エリア特性を活かした「心ゆたかなひとづくり」に寄与する文教ゾーンの形成(ソフト面)</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市は、平坦な地形を活かした水田地帯、市域北部や南部の丘陵地には茶園などが広がり、市域中央部には原野谷川が流れ、自然豊かな美しい環境に恵まれている。また、JR東海道線や東名高速道路、国道1号バイパスなどの国土形成軸となる利便性の高い東西交通ネットワークなどを有し、これら沿線等を中心に産業集積が進んでいる。 本市の都市構造は、JR東海道線や主要公共交通の結節点となる袋井駅周辺地区を都市拠点とし、昭和29年から平成初期に掛けて土地区画整理事業などによる基盤整備を実施し、この都市拠点を中心に、市域北部や南部、東部の地域拠点を結び市域の発展を目指す将来都市構造を位置づけている。 本地区の中心には浅羽支所庁舎があり、行政機能の拠点としての役割を担っているが、合併から18年が経過し、市民サービスの向上と行政運営の効率化を図るため、支所から本庁舎へ行政機能を段階的に移行してきたことにより、空きスペースが生じ、地域拠点としての求心力が低下している。 市南部の浅羽・笠原地区は、2011年の東日本大震災の発生以降、津波被害への懸念等により人口減少傾向にある。 浅羽支所周辺地区には、行政施設以外にも様々な文化的施設が集積していることから、支所庁舎の空きスペースを利活用して「子育て世帯など特に若い世代が集う拠点施設」や「市民の文化活動を通じたにぎわいの拠点となる施設」を整備することで、周辺施設ともより一層つながりをもたせ市南部地域の持続的発展を目指す。

<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 袋井市は、平坦な土地を活かした農業を中心としたまちの成り立ちから、旧村単位に農村集落を形成し、現在もその集落を母体として小学校、コミュニティセンター等の生活の拠点施設を置いている。昭和44年の東名高速道路袋井インターチェンジの開設以降は、多くの物流、製造業等が進出し、さらにこうした産業振興と併せて、積極的に土地区画整理事業を実施してきたことで静岡県内でもトップレベルで人口が増加している。 平成17年4月1日に旧袋井市と旧浅羽町が合併し、面積は108km²、人口8万8千人が暮らす農業・商業・工業がバランス良く発展した、里山・田園・茶園・海岸といった自然豊かなまちである。 平成18年度には「袋井市ウオーキングメッカ構想(平成19年3月)袋井市」を策定するとともに、19年度には「健康増進のライフスタイル形成支援・連携方策に関する調査(平成20年3月)国土交通省 都市・地域整備局」を実施し、「歩く」ことが健康の維持管理(医療福祉支出の軽減)につながることを、また中心市街地の活性化などに対しても有効であることを整理し、公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換できる「健康マイレージ制度」を全国に先駆け、全地域で実施し、平成22年5月には、一人一人が健康で幸せを感じられる”心と体の健康”、活力、潤い、安全安心を実感できる”都市と自然の健康”、つながりと交流を育む”地域と社会の健康”の3つの健康を柱に掲げる「日本一健康文化都市」を宣言している。 令和2年12月に策定した「第2次 袋井市総合計画後期基本計画(令和3年度～令和7年度)」では、人口減少社会の進展をはじめ、人生100年時代、自然災害、デジタル化、SDGs、コロナ感染症対策といった社会情勢の変化や時代の潮流を踏まえ、これまでに創り上げてきた個々の施策、資産を磨き上げ、着実に進めていくことに加え、「変革」と「共創」によるまちづくりを進め、市民が誇りを持ち、暮らしの楽しさを享受し、誰もが健康で安全に暮らすことのできる成熟社会の実現に向けて、さらなる日本一健康文化都市の進化、深化を目指して、「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」をまちの将来像に掲げている。 総合計画や都市計画マスタープランで示す土地利用計画では、JR袋井駅周辺を都市拠点、南部、北部、東部に位置する3つの地域拠点を日常生活や産業・経済活動を担う主要拠点とし、さらにこれら主要な拠点との連携により良好な集落地を形成する集落拠点に位置づけ、それぞれ拠点ごとの機能強化と役割を明確化し連携を図って「ふくろい版多極ネットワーク都市構造」を掲げている。 また本市立地適正化計画における本地区の位置づけとしては、浅羽支所の行政機能をはじめ、様々な文化的施設(郷土資料館、近藤記念館、メロープラザ、浅羽図書館)が集約していることから、これらを活用したにぎわいある都市づくりを推進するとともに、市南部地域と中心市街地の結節点としての機能強化を図ることで市南部の地域拠点にふさわしいにぎわいのある都市空間の形成を目指すこととしている。

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 本庁舎へ行政機能を移行してきたことにより空きスペースが生じ、浅羽支所周辺の衰退が懸念されるため、空きスペースを活用し地域拠点の活性化を図る必要がある。 市の人口が減少局面に突入。特に市南部地域は、2011年の東日本大震災の発生以降、人口が減少傾向であり、人口減少に歯止めをかける取組が必要である。 市民から子育てや子どもに関するサービスへの要望がある。

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 袋井市総合計画 まちの将来像「活力と創造で未来を先取る日本一健康文化都市」の実現に向け、子どもを安心して産み育てられる環境の充実と快適な生活環境の整備を図る。 <ul style="list-style-type: none"> →基本目標 「子どもがすこやかに育ち みんなが健康で幸せに暮らすまち」 →基本施策 「みんなで支え合う子育て環境の充実」 →基本目標 「活力にあふれ潤いと安全・安心を実感できるまち」 →基本施策 「暮らしがよくなる都市拠点の創出」 →基本目標 「つながりと交流を大切にし豊かな市民力で未来を拓くまち」 →基本施策 「市民と行政の協働によるまちづくり」 「教養豊かな人づくり」 袋井市都市計画マスタープラン 将来都市構造 「都市拠点・地域拠点・集落拠点をネットワークでつなぐ ふくろい版多極ネットワーク都市構造」 <ul style="list-style-type: none"> →基本目標 「にぎわい・活気あふれる都市づくり」「健康・快適・歩いて暮らせる都市づくり」…都市拠点等への機能集積と拠点間連携によるにぎわい・活気あふれる都市づくりの推進 「ネットワークを利用し誰もがつながることのできる都市づくり」…行政・運輸事業者等との連携強化による公共交通ネットワークの利便性向上 袋井市立地適正化計画 都市づくりの基本方針「子どもからお年寄りまでいつまでも健康・快適・歩いて暮らせる都市づくり」 <ul style="list-style-type: none"> →施策の柱「コンパクトに都市機能が集約した拠点の形成」「安全・安心で魅力ある住環境の形成と再生」「誰もがつながることができるネットワークの形成」

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

人口減少・少子高齢化社会において、利便性の高い生活環境の確保や都市としての活力を維持していくためには、必要性の高まる医療施設や福祉施設のほか生活に欠くことのできない商業施設等の都市機能を維持・集約していく必要がある。本市では、将来都市構造に位置付ける都市拠点・地域拠点に都市機能誘導区域を設定し、これらの都市機能の集約を図ることでコンパクトで利便性の高い拠点の形成を推進していく。また地域・企業・市民活動団体(NPO法人、ボランティア)等が連携を図りながら、公共空間等を様々な形で有効活用するなど、地域主体のまちづくりを積極的に推進することで、にぎわいや活気ある拠点の形成を図っていく。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
エリア内の施設利用者数	人／年	エリア内に設置している郷土資料館、近藤記念館、メロープラザの年間利用者数	魅力ある快適な空間を整備することにより、利用者を増加させ、にぎわいを創出する。	68,403人	令和5年度	79,800人	令和11年度
エリア内の施設が連携して行う催し物の数	回／年	エリア内の各施設が連携し、エリア一体となって行う催し(イベント等)の数	回遊性の高い文教ゾーンの形成に向けて、エリア内の各施設が連携した取り組みを促進させる。	1回	令和5年度	3回	令和11年度
主体的に集客イベント等を行う市民団体等の数	団体	エリア内の施設で集客イベント(講座、ワークショップ等)を行う市民団体等の数	市民や団体が主体的に活動できる環境を提供し、市民がいきいきと活躍するまちづくりを進める。	3団体	令和5年度	5団体	令和11年度
市民満足度の向上(みんなで支え合う子育て環境の充実)	%	子育て環境に対する満足度(満足・やや満足)の割合の向上	子どもや子育て世代が利用する拠点施設を整備することにより、子育て環境に対する市民の満足度を高める。子育て環境に対する市民の満足度を高め、居住人口を確保する。	34%	令和5年度	40%	令和11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1 多様な世代が訪れ交流する魅力ある都市空間の創出 地域住民の生活と関連の深い行政施設や文化施設等を中心に、人のつながりや交流を育む空間を整備し、浅羽支所周辺地域のにぎわいを創出するとともに、市南部地域の持続的発展につなげる。</p>	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(緑地、広場):にぎわい広場 ・高質空間形成施設:浅羽記念公園(水場) <p>□提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動推進事業:浅羽支所周辺地域にぎわい創出実証実験 <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存建造物活用事業(地域交流センター):袋井市子ども交流館あそびの杜(休憩コーナー)、多目的スペース
<p>2 子どもの笑顔と子育ての喜びがあふれる場所づくり 子どもがあそび(遊び・学び・体験)を通してすこやかに成長するとともに、親子で安心して快適に過ごせる拠点を整備し、子育てしやすいまちづくりを進める。</p>	<p>□提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動推進事業:浅羽支所周辺地域にぎわい創出実証実験 <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存建造物活用事業(子育て世代活動支援センター):袋井市子ども交流館あそびの杜
<p>3 エリア特性を活かした「心ゆたかなひとづくり」に寄与する文教ゾーンの形成(ソフト面) 郷土資料館、近藤記念館、メロープラザ、浅羽図書館等が隣接するエリアの特性を活かし、回遊性が高まる学びや体験の場の充実を図ることで、市民がいきいきと活動できるまちづくりを進める。</p>	<p>□提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動推進事業:浅羽支所周辺地域にぎわい創出実証実験 ・まちづくり活動推進事業:浅羽支所周辺回遊促進事業 <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅羽支所改修事業 ・既存建造物活用事業(子育て世代活動支援センター):袋井市子ども交流館あそびの杜
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	213	交付限度額	106.5	国費率	0.5
---------	-----	-------	-------	-----	-----

「都市構造再編集中支援事業」を活用した場合、本様式を使用すること
(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費	費用便益比 B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域生活基盤施設		にぎわい広場	袋井市	直	3,448㎡	R7	R10	R7	R10	181	181	181		181	
高質空間形成施設		浅羽記念公園(水場)	袋井市	直	21㎡	R9	R10	R9	R10	20	20	20		20	
合計										201	201	201	0	201	

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析調査		袋井市	直	-	R11	R11	R11	R11	3	3	3		3
まちづくり活動推進事業	にぎわい創出実証実験	浅羽支所周辺	袋井市	直	-	R10	R11	R10	R11	7	7	7		7
	回遊促進事業	浅羽支所周辺	袋井市	直	-	R10	R11	R10	R11	2	2	2		2
合計										12	12	12	0	12

事業	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費	
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
居住誘導促進事業														
合計										0	0	0	0	0

(参考)都市構造再編集中支援関連事業 合計(A+B+C) 213

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
合計											0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
浅羽支所改修事業	浅羽支所	袋井市	-	-	○				R7	R12	349
既存建造物活用事業(子育て世代活動支援センター)	袋井市こども交流館あそびの社	袋井市	-	-	○				R7	R12	992
既存建造物活用事業(地域交流センター)	袋井市こども交流館あそびの社	袋井市	-	-	○				R7	R12	268
合計											1,609

